

別表 平成22年度特別会計予算

会計名	金額
国民健康保険	74億5,650万円
老人保健	285万円
後期高齢者医療	9億7,634万円
介護保険	36億6,048万円
介護サービス	679万円
公共下水道事業	14億2,637万円
大生郷特定公共下水道事業	1億8,437万円
農業集落排水事業	2億6,806万円
市営石下自動車学校事業	1億1,495万円
水道事業	23億9,285万円
合計	164億8,956万円

議案第27～36号  
特別会計総額164億  
8956万円を計上

平成22年度特別会計予算

特別会計とは、特定事業を行なうために一般会計から分離して別に収支経理するもので、本年度の総額は、10会計で164億8956万円となっています。詳細は別表とおります。



水道事業所

懲罰

議員茂田信三君に対する懲罰の件について  
審査の結果 「戒告」

前号でお知らせしました  
が、12月議会において、喜見  
山明議員に対する侮辱的な発  
言があったとして、懲罰動議  
が提出され、懲罰特別委員会  
が設置されたことにより、合

法規の規定に違反する行  
為が対象になります。

懲罰動議の提出

懲罰の動議は、文書を  
もって所定の発議者が連  
署して、議長に提出しな  
ければならない。

懲罰特別委員会の設置

議員の懲罰動議があつ  
たときは、懲罰特別委員  
会が設置されたものとす  
る。委員会の定数は10人。  
(常総市議会会議規則・委  
員会条例抜粋)

議会三辞典

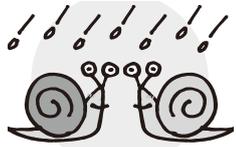
懲罰とは

議会の自立権に基づき、  
議会の規律と品位を保持  
するために、議会の秩序  
を乱した議員に対して議  
会が出す制裁のことです。  
この制裁には、重い順か  
ら議員の身分を剥奪する  
「除名」次いで「出場停止」  
「陳謝」「戒告」の四つの  
懲罰が定められ、今回の  
「戒告」は最も軽い処分  
単に叱りおくだけです。  
懲罰は、議員に対して  
の侮辱発言や議長への命  
令に応じなかった場合など

建設正副委員長が交替

建設委員長喜見山明議員と  
同副委員長岡野一男議員の辞  
任を受けて、新委員長に中村  
安雄議員が、新副委員長に風  
野芳之議員が選出されまし  
た。また、喜見山明議員はこ

れにより、議会運営委員会  
のメンバーからも辞任。新たに  
倉持泰仍議員が入りました。



人事

計3回の委員会が開催されま  
した。なお、過去2回の懲罰  
を受けていたことが明らかに  
なりましたが、審査の結果、  
茂田信三議員に対して「戒告」  
の懲罰を科すことで議決され  
ました。

常総市各種委員(敬称略)

- ◎ 幼児施設設置協議会委員
  - ・ 中村博美
- ◎ 青少年問題協議会委員
  - ・ 篠崎孝之
  - ・ 高杉徹
- ◎ 公民館運営審議会委員兼社  
会教育委員
  - ・ 喜見山明
  - ・ 遠藤正信
- ◎ 障害児就学指導委員会委員
  - ・ 中村博美
  - ・ 遠藤正信
- ◎ 学校給食センター運営委員  
会委員
  - ・ 坂卷文夫
  - ・ 石川栄子
  - ・ 山本幹男